

質 問 一 般

第191回
定例会より

ここが聞きたい 市政をたずねます

9月9日、10日に行われた質疑・一般質問には15人の議員が演壇に立ち、議案や市政全般にわたり活発な質問が展開されました。
その一部を紹介します。



もっと詳しく!!
病院運営・介護保険
少子化・教育問題etc
聞かせてください!!

介護保険

Q 介護保険事業基本計画の見直しにあわせての具体的な低所得者軽減策は。

A 現在、介護保険条例第11条により災害その他特別の事情により保険料の支払いが困難となった方について保険料の減免をおこなっている。利用料については国の低所得者対策としてホームヘルプ減免による利用料の70%軽減や社会福祉法人等における利用料の50%軽減をおこな

ている。

軽減措置については厚生労働省から、一律減免をしない、一般財源の繰り入れをしない、全額免除をしないという3つの基本指導がある。本市においても厚生労働省の基本指導を守りながら、保険料改定を含めた第二期介護保険事業計画の中で検討していきたい。



少子化対策

Q 加西市の出生率は。少子化対策としての子育て支援とは。

A 加西市の出生率は平成13年12月末日で1・35であり全国平均の1・33を若干上回っている。少子化対策の一環として子育て支援を行っているが、この施策は就労・育児の両立を実現させるための家庭支援を目的としており、加西市の保育においては日々の通常保育業務以外に保育時

小中学校 耐震計画

Q 加西市内の小中学校の耐震対策は。

A 大幅に見直された耐震基準に該当する昭和56年以前に建てられた小中学校は、市内で71%、県内では68%を占めている。これらの小中学校については早急な耐震診断とその結果による耐震補強が必要であるが、兵庫県下でも実施が進んでいないのが現状で、加西市においても診断実施

間の延長、障害児児童への障害保育事業等を実施している。
また、児童療育室、家庭児童相談室では「ひよっこタイム」「むぎの会」などの子育て支援を行っており、8月末現在で「ひよっこタイム」の利用者は二千九百十一名、「むぎの会」は百七十三名の利用者がある。



率は小学校で21%、中学校で30%である。現在、全国の公立小中学校における耐震診断の進捗に対し、文部科学省が公立小中学校の耐震診断実施促進のため、3年以内に耐震診断を行うよう各県教育委員会を通じ各市町教育委員会に要請するとともに総務省へ特別交付税で措置するよう要望している。

文部科学省の要請は該当小中学校に対する一時診断で、経費負担も少ないため、加西市としてもできるだけ実施していく予定である。



幼保一元化特別委員会視察



一般(B)

一般[A] 地域に密着し、住民に身近な医療機関として、概ね二次機能までの医療に対応している比較的規模の小さい病院。
一般[B] 地域が必要とする各領域の医療において基本的・中心的な役割を担い、高次の医療にも対応しうる一定の規模を有する病院。